

紋高養だより

令和7年12月24日発行
第 3 号

北海道紋別高等養護学校
紋別市渚滑町元新1丁目152-1

小さな積み重ねによる生徒の成長

校長 蓬田 泰生



日本経済新聞の記事によれば、「日本の夏の期間が1982～2023年の42年間で約3週間長くなり、冬はほぼ変わらず、春と秋が短くなって二季化している」との研究結果が報告されています。実際に紋別市でも、10月上旬に27℃を記録したかと思えば、その3週間後には雪が降りました。紅葉を楽しむ間もなく冬に突入してしまい、少し寂しい気持ちになった方も多いのではないでしょうか。日本の美しい四季の彩りを守るためにも、温暖化対策に向けて私たち一人一人ができることを積み重ねていく必要を感じます。

さて、令和7年も残すところわずかとなりました。本校にとっての一年を振り返りますと、そこには生徒一人一人の成長と、地域や保護者の皆様の温かな支えがありました。この一年を共に歩んでくださったすべての方々に、心より感謝申し上げます。

今年も学校祭に多くの皆様にご来校いただきました。生徒たちが日頃の学習や活動の成果を披露する場となり、温かい拍手や励ましの言葉をいただいたことは、子どもたちにとって大きな自信となりました。ご来場くださった皆様に改めて厚く御礼申し上げます。また、地域の皆様と交流する機会として「ふれあい広場もんべつ」にも参加させていただきました。生徒たちは地域の方々と触れ合いながら、自分たちの役割を見つけ、社会の一員としての喜びを感じることができました。温かく迎えてくださった皆様に心から感謝いたします。

今年は干支でいうと「巳年」でした。巳年は古来より「再生」と「変革」を象徴すると言われています。蛇が脱皮を繰り返し新しい姿へと生まれ変わるように、私たちもまた、これまでの経験を糧に新しい自分へと歩を進める年でありました。本校の生徒たちも、日々のチャレンジを通じて小さな殻を破り、新しい可能性を見せてくれました。困難を乗り越える姿はまさに「再生」の証であり、学校全体が新しい方向へと進む「変革」の力を感じさせてくれました。

生徒たちは日々の小さな経験を積み重ね、確かな成長へとつなげています。その姿は、私たち大人に学び続けることの大切さを教えてくれます。教育は決して一方的に教えることではなく、子どもたちとともに学ぶものです。彼らの純粋な心や真摯な努力に触れるたび、我々教職員も新たな気づきを得ております。

来る2026年も、学校と地域、家庭が手を携え、生徒一人一人の可能性を最大限に伸ばす教育を目指してまいります。本校の子どもたちが、自分らしく、そして誇りを持って社会に羽ばたいていけるよう、教職員一同、心を込めて取り組んでまいります。一年間のご支援に改めて感謝申し上げますとともに、皆様の新しい年が希望に満ちたものとなりますよう心よりお祈り申し上げます。



Ⅰ 学 年

Ⅰ学年では、一般企業とA型事業所、B型事業所の違いを実際に見学し学ぶとともに、働くことの意義、卒業後の仕事や生活の場について考えています。7月の就労支援セミナー、9月は卒業生講話、11月の3学年前提実習報告会で先輩方からの貴重な話を聞き、今後、働く上で必要なことについて考えを深めました。

職場見学(紋別市内)

9月9日(火)に、就労に向けて、進路に見通しをもち、働く意義を理解し、目的意識を高めることをねらいとして、卒業後の仕事や相談の場を見学・体験しました。2つのグループに分かれて、イオン紋別店、オホーツクパレス、紋別ベジタブルファクトリー、西紋地域活動支援センター つばさの会、みのりを訪問しました。訪問先では、生徒が丁寧な説明に熱心に耳を傾けたり、積極的に質問したりしている姿が印象的でした。実際に見て学んだことを、是非、今後の学校生活に活かして行ってほしいです。



現場実習

10月6日(月)～10日(金)の5日間、紋別市内の企業や事業所にご協力いただき、現場実習を行いました。

10月14日(火)～17日(金)の4日間で実施した生徒や、校内実習という形で実施した生徒もいます。

今回の現場実習の目的は、「働くとは何かを知る」「自分の得意なこと苦手なことを知る」でした。職場の方々と仕事をする経験を通して、働く楽しさや大変さを身をもって知ることができました。生徒たちは、それぞれの目標を意識し、多くの経験をしながら充実した実習とすることができました。



2 学 年

宿泊研修(旭川市)

今回、「卒業後の暮らしについて考える」、「仲間との協力・自分の役割」、「決まりやルールを守る」の目標を立て、9月10日(水)～9月11日(木)に旭川市内で施設見学、事業所見学を行いました。

1日目の健誠社では、エコを意識した燃料の取り組みなど、従業員の方からお話を聞いた後、実際にアイロン体験をさせていただきました。また旭山動物園でのバックヤード見学ではヒグマの檻の中に実際に入ったり、動物園での取り組みやクマとの共存についてのお話をいただいたりしました。

2日目の自主研修では各グループに分かれて福祉的就労の事業所や企業などを訪問し、仕事の様子や企業の取り組みを学びました。その他には商業施設に行き、施設の利用の仕方やルール、集団としての行動を学ぶことができました。今後の学校生活や進路に向けて実体験を通して考える良い機会となりました。



現場実習(居住地・紋別市内)

第2回現場実習では、自宅、グループホーム、寄宿舍から職場に通勤することで、現在抱えている「生活の場」の課題を克服することをねらいました。過去の実習に比べ、より将来の暮らしに近い形で実習に取り組むことにより生活に対する意識も高まり、進路決定に一步前進することができました。

3年生の進路決定に向け今年度の重点を「選択する」としました。学年の目標では、「自己責任・思いやり・メリハリ」を掲げています。生徒たちが自分自身の進路実現をするための行動に責任がもてるように意識付けするなどの支援をしています。その結果、メリハリや思いやりをもって仕事に臨む態度が見られるなど成長が確認できる実習となりました。実習後の振り返りでは、総合的に自己評価することができ、それをもとに今後は進路選択をしていきます。

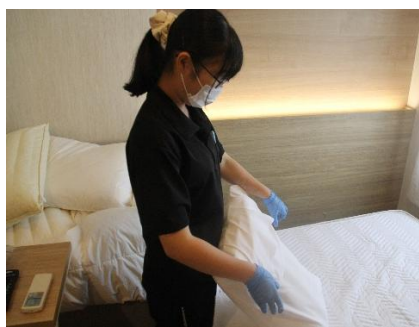


3 学 年

前提実習

紋別高等養護学校の3年生にとって、卒業後の進路を決定づける重要な実習が9月からの4～5週間にわたり実施されました。この実習は、生徒たちが卒業後の就労先となる企業や事業所で行われるため、単なる職場体験とは大きく異なります。生徒にとっては「就職試験」としての意味合いが非常に強く、実習を受け入れる企業や事業所側も、「卒業後の雇用が可能か」という評価の視点をもって生徒の様子を把握します。生徒たちは、この緊張感あふれる現場で、これまで学校で身に付けてきた挨拶や報告、作業の基本動作など、学んだことのすべてを発揮できるよう、真剣に、そして懸命に努力しました。

実習は、生徒の自立と社会参加に向け、真剣勝負で挑む貴重な学びと実践の場です。本校では、生徒が社会に出てその力を発揮し、活躍できるように、教職員一同が全力でサポートを継続しています。



自主研修

3学年は市内で自主研修を行い、余暇活動を通して公共施設の利用に関するルールやマナーを学習しました。全員で流木スプーン・フォーク作りに取り組み、思い思いの文字を流木に刻み、世界に一つの物を作ることができました。その後ボウリングとカラオケに分かれ、グループごとの研修を行いました。ボウリングでは生徒と教員でチームを組み、白熱したゲームを行い、賞賛し合うことができました。カラオケでは仲間とともに盛り上がり、他者と関わりながら自己表現をする良い機会となりました。活動を通して、社会性やコミュニケーション力を高めるとともに、仲間と過ごす時間の中で新たな発見や喜びを感じることができました。仲間との関係性を深めながら社会性を高めるとても充実した研修となりました。



学 校 祭

11月21日(金)～22日(土)に学校祭を開催しました。今年も2日日程で、1日目は保護者のみなさん、2日目は地域の方や卒業生のみなさんを招いて公開しました。

1日目は、生徒会執行部や多数の教員出演による「オープニングセレモニー」や有志の生徒によるステージパフォーマンス「MKY(紋高養)スペシャルステージ」を行いました。ステージには、実行委員会が照明や舞台操作を担当し、学校祭を盛り上げるために活躍していました。

2日目は学年ごとに企画したアトラクションを楽しんでもらったり、学科即売会を行ったりしました。即売会開始前には、各学科による製品PRを行い、自分の学科製品の良いところをアピールし、多くの人に手に取ってもらえるようPRに努めていました。おかげさまで多くの学科で完売することができました。今年は200名ほどの来場者があり、盛況の中で学校祭を終えることができました。本当にありがとうございました。



寄宿舎の様子

寄宿舎では、日課に沿った集団生活を通じて、卒業後の自立に向けた生活指導を行っています。下校後は入浴や洗濯を済ませてから、みんなで夕食をとり、トイレや洗面所、食堂、舎室、浴室などの清掃に取り組みます。清掃後の余暇時間には、友達と遊んだり、おやつやジュースを楽しんだりしながら、思い思いに過ごしています。

また、サマーイベントでは射的やうちわコンテストなどを企画し、生徒が主体となって活動する姿が見られました。協力し合いながら楽しむ中で、達成感や自信を身に付けます。こうした日常生活や行事を通して、生徒たちは自分の役割を果たすことの大切さを学び、仲間と助け合う姿勢を身に付けています。寄宿舎での経験が、卒業後の自立した生活へとつながるよう、今後も支援を続けていきます。



1月～3月の行事予定

月	日	行 事
1 月	14 日 (水)	3 学期始業式
	20 日 (火)	定期考査
	26 日 (月)	作品コンクール表彰式(冬)
	30 日 (金)	入学者選考検査のため家庭学習日
2 月	2 日 (月)	入学者選考検査のため家庭学習日
	3 日 (火)～	3 学年個別懇談日(～2 月 27 日)
	6 日 (金)	漢字検定
	18 日(水)・19 日(木)	地域即売会(1 年生)予定 (※変更になることもあります)
	19 日 (木)	生徒会役員選挙・任命式 卒業生を送る会(舎)
3 月	2 日 (月)～	1・2 学年個別懇談日(～3 月 19 日)
	6 日 (金)	第 26 回卒業証書授与式
	19 日 (木)	全校集会 学年集会
	24 日 (火)	修了式・離任式 閉舎日
	25 日 (水)～	学年末休業日

～ 編集後記 ～

「紋高養だより第 3 号」はいかがでしたでしょうか？

本号では、各学年の活動、学校行事、寄宿舎での様子などをお届けいたしました。

今年も残りわずかとなりましたが、これからも生徒たちの成長を温かく見守りながら、笑顔が溢れる学校生活を支えていきたいと思ひます。

最後になりましたが、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただいております保護者の皆さま、そして地域の皆さまに心より感謝申し上げます。

2026 年も紋別高等養護学校を、どうぞよろしくお願いいたします。

